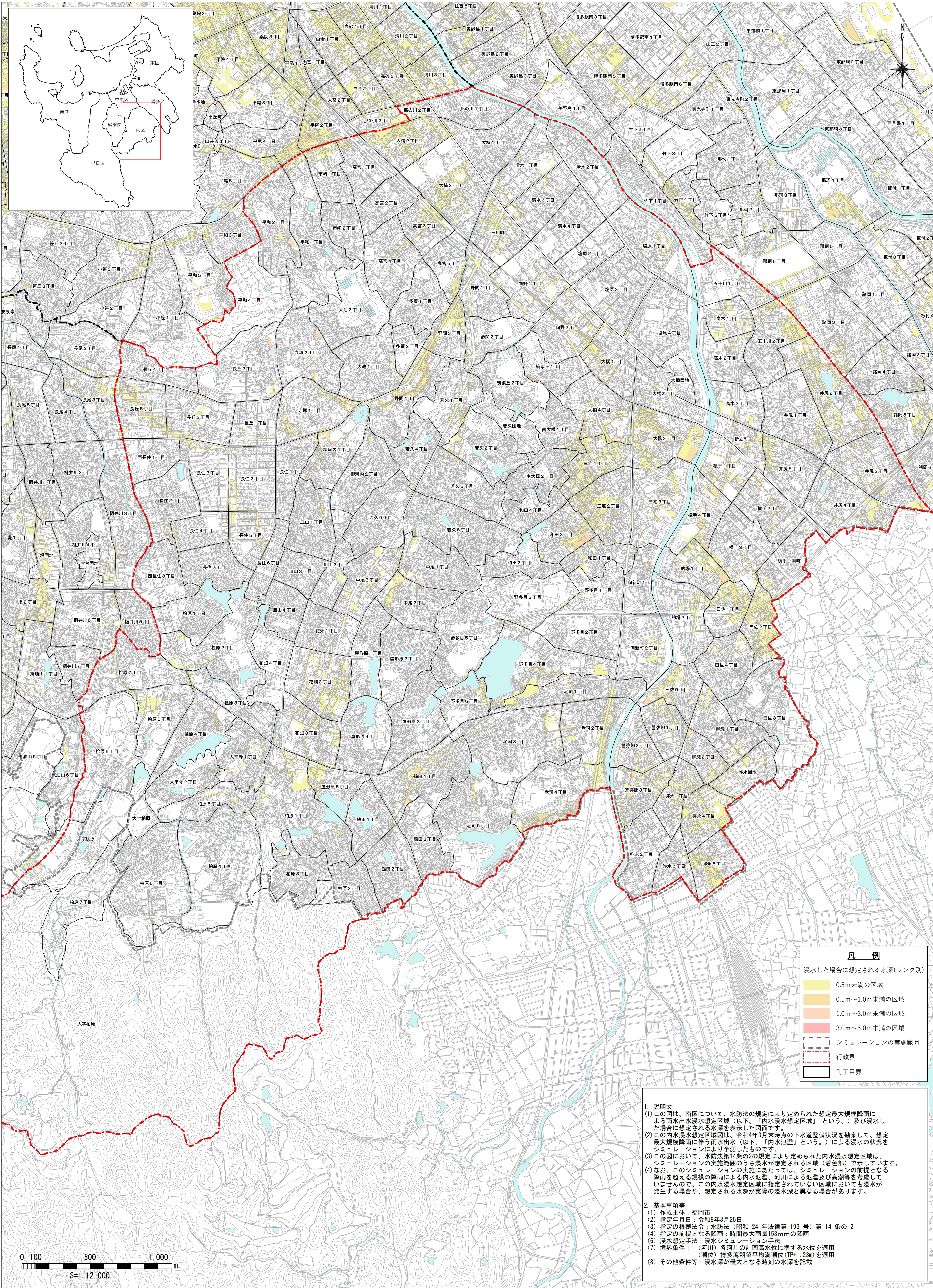


# 水防法第14条の2に基づく 南区 内水浸水想定区域図(想定最大規模)



## 凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- シミュレーションの実施範囲
- 行政界
- 町丁目界

1. 説明文  
(1) この図は、南区について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による雨水出水浸水想定区域(以下、「内水浸水想定区域」という。)及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
(2) この内水浸水想定区域図は、令和4年3月末時点の下水道整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水(以下、「内水氾濫」という。)による浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
(3) この図において、水防法第14条の2の規定により定められた内水浸水想定区域は、シミュレーションの実施範囲のうち浸水が想定される区域(着色部)で示しています。  
(4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による内水氾濫、河川による氾濫及び高潮等を考慮していませんので、この内水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等  
(1) 作成主体：福岡市  
(2) 指定年月日：令和8年3月25日  
(3) 指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2  
(4) 指定の前提となる降雨：時間最大雨量153mmの降雨  
(5) 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法  
(6) 境界条件：(河川)各河川の計画高水位に準ずる水位を適用  
(7) (湖位)博多湾潮望平均満潮位(TP+1.23m)を適用  
(8) その他条件等：浸水深が最大となる時刻の水深を記載